

## 消防出初式

1月8日、役場庁舎前駐車場において消防団員・署員270名が参加し、消防出初式が行われました。

観閲・機械点検の後、無火災・無災害を祈願して行われた第1分団によるはしご乗りは、見ている方もハラハラ。寒い中で行われた高いはしごの上での巧妙な技に、富士見町消防団の心意気を感じました。



はしご乗りの最後を飾った「祈願 無火災」の垂れ幕



高～いはしごの上ですよ！



町民センターまで分列行進

## 寒さになんか負けないよ！ 第40回町民スケート大会

1月9日、茅野市国際スケートセンターにおいて、第40回町民スケート大会が開催されました。



大会には保育園児から83歳の方まで62名が参加、300mから3000mの32種目で競いました。選手の皆さんは日頃の練習の成果と昔鍛えた技術を大いに発揮し、5つの大会新記録が誕生しました。



## ふるさとのみなさんへ 東都高原富士見会だより



長谷川 瑞 枝  
右から1番目  
埼玉県川越市  
(新田出身)

ふる里  
富士見町の皆様へ

今日は私の第二のふる里「川越市」を紹介します。

現在人口33万人で、埼玉県で最初に市になったのが川越です。のどかな城下町で、現在も嘉永元年建造の本丸御殿の玄関と大広間が残っており、江戸時代は川越からの湧水が新河岸川となり、江戸城への水路となっていました。今でも名残があり、「小江戸川越」と呼ばれて観光地となっていています。中央通りの土蔵造り店舗は蔵造りとして有名で、東京では見られない江戸の面影をとどめています。

中央部には「時の鐘」が小江戸のシンボルとして四百年の時を越え、今でも朝六時・正午・午後二時・六時と日に四回、市民に時を

知らせています。

蔵造り店舗のほすれには江戸時代の下町風情を残した菓子屋横丁があり、昔ながらの駄菓子屋さんが製造販売をしています。団子やせんべい等の香りにさそわれ、つい足が向いてしまいうにぎやかな路地です。

また、十月中頃には川越祭り一色になります。蔵の町並を、国の重要無形民俗文化に指定されている豪華絢爛な山車が十数台曳き廻されます。この祭りには私の家にも富士見会の皆さんが集まり、幼い日に親類のお祭りによばれた気分でお酒を飲みながら昔話となり行き着くところはやっぱり富士見町ですね。最後に、すばらしいふる里富士見町と共にこれからの人生を大切に生きたいと思えます。